

北九州市立医療センター

研修医 久保 雄太郎 2017年12月

北九州市立医療センター地域医療研修プログラムとして12月にお世話になりました、初期研修医の久保雄太郎と申します。出水総合医療センター、野田診療所、高尾野診療所、保健センター、上場診療所にて研修させていただきました。各診療所、施設の職員の方々にお世話になり、大変良い研修となりました。この場を借りてお礼申し上げます。

診療所では、外来診療、訪問診療を中心に研修させていただきました。患者は高齢者が多く、病気のコントロールのみではなく、日常生活における困った点を含めた患者背景にまで気を配っての医療を提供しているところを肌で感じることができました。

保健センターでは、研修日が3ヶ月健診の日で見学させていただきました。地域の開業医の先生による診察、保健センター職員による問診や悩み相談が行われており、なかなか普段の診療では知ることのできない保健センターの役割、業務について認識することができました。

院内研修では外科で研修させていただきました。朝の回診で創処置、外来見学、手術を中心に研修しました。現在所属している北九州市立医療センターは癌拠点病院であるため、手術の大半は悪性腫瘍の症例ばかりです。出水総合医療センターでも悪性腫瘍の手術を中心にされていましたが、交通外傷の重傷例の手術もされており大変驚きました。

最も印象深かったことが、参加させていただいた二木会でした。出水郡の医療圏に携わる先生方が集まる勉強会を行う会で、所属に関係なく交流を深める機会が定期的に行われていることが大変良いことで、地域全体でのチーム医療を感じました。

現在初期研修を行っている北九州市は、悪性腫瘍、循環器疾患、救急、慢性期というように病院毎の得意分野がはっきりしており、役割分担が比較的はっきりしている医療体制が構築されています。それとは全く違う形で医療が提供されているような地域で研修ができ、大変良い経験となりました。

最後になりましたが、1ヶ月の研修で指導してくださった先生方をはじめとしたスタッフの方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。